



谷口 より子

市政改革通信 H24 新春号

玉野市議会議員

谷口 より子 (42歳)

1969年2月19日生まれ
日本福祉大学 社会福祉学部 部卒

役職：厚生委員会 委員長
議会改革特別委員会 委員、
議会運営委員会 委員、農業委員 他

所属会派：未来

編集・発行 玉野市議会議員 谷口 より子

〒706-0013 玉野市奥玉 3-5-7 TEL:090-6433-5166 FAX:0863-21-3485

E-mail: info@yoriko-taniguchi.net web: www.yoriko-taniguchi.net

お気軽に、ご相談・ご要望下さい！

blog : www.blog.yoriko-taniguchi.net twitter : www.twitter.com/yorikotaniguchi

Facebook : www.facebook.com/yoriko.taniguchi

【 ごあいさつ 】

新しい年を迎え、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？

旧年中は、皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。

心より御礼申し上げます。

昨年3月11日には東日本大震災が発生、また9月には当市において台風災害が発生し、災害はいつどこで発生するかわからないと改めて実感いたしました。

防災、減災に向けたハード整備はもとより、災害がいつ発生しても、誰もがきちんと迅速に安全に避難できる、また生活が守られる体制づくりを急がなければなりません。

また、少子高齢化による人口減少、公共交通整備、防災対策、イノシシ対策、雇用対策、介護、子育て・教育問題等々・・・、当市では早急に解決すべき課題が山積しています。

身近な議員として、さまざまな問題、課題について皆様の声をお聞きしながら、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

どうか本年も宜しくお願い申し上げます。

平成23年12月定例議会 報告

補正予算案、軽自動車税の納期変更の市税条例改正案、田井小学校、玉小学校改築の各工事請負契約締結、玉野市災害弔慰金支給等に関する条例改正案、パウハウス指定管理者指定等の各議案が原案通り可決しました。

【 平成23年度 補正予算 】

<ul style="list-style-type: none"> 一般会計(一部抜粋) ・地域支えあい体制づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> (防災器具倉庫移設費補助:藤井地区自治連合会) 401千円 ・ " (施設修繕料:中央公民館) 1,000千円 ・ " (災害時要援護者台帳整備委託料) 5,500千円 ・障害福祉サービス費等給付事業 86,000千円 ・高齢者等生活支援事業(高齢者住宅改造扶助費) 4,000千円 ・助産施設措置事業 735千円 ・保育園管理運営事業(臨時職員追加配置) 22,660千円 (一般会計 222,851千円、国民健康保険事業特別会計 9,975千円、介護保険事業特別会計 6,000千円を追加補正。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種委託料 19,695千円 ・大気浄化植樹補助 910千円 ・農林基盤整備事業 災害関係費 30,000千円 ・消防団運営事業(消防団員の安全靴整備) 849千円 ・ " (岡山県市町村総合事務組合負担金) 13,407千円 国民健康保険事業特別会計 ・電算処理委託料(コンビニ収納に伴うシステム改修) 9,975千円 介護保険事業特別会計 ・地域自立生活支援事業(給食サービス事業委託料) 6,000千円
--	---

【 来年度から軽自動車税の納期が変わります！ 】



現在、GW期間である4月30日までとなっている軽自動車税の納期を、県税の自動車税と同じ5月31日までに変更して欲しいという要望をいただき、平成23年3月議会質問にて取り上げたところ、今議会において、条例改正議案が提出され、可決されました。

平成24年度より、納期が 5月1日～5月31日まで となりますので、ご注意下さい。

裏面もぜひお読みください。

【 12月定例議会一般質問 】

1. 少子化対策、子育て支援について

まず、不育症治療費補助について質問しました。

不育症とは、妊娠しても流産、死産や新生児死亡などを繰り返して結果的に子供を持っていない場合をいい、不育症患者は妊娠経験者の4.2%で発生するというデータがありますが、特殊な場合を除き、正しい検査と治療により、約8割が出産可能とされています。しかし殆どが高額な自費診療であり、経済状況によっては子どもを授かることをあきらめざるをえないというのが現状です。平成22年度から、全国で初めて真庭市が治療費助成を始めたのを機に、全国的に助成制度を設ける自治体が増えており、県内でも、真庭に続いて総社市、笠岡市、瀬戸内市の3市で今年度から市独自の助成がスタートしています。

そこで当市の助成への検討について、少子化対策も含めた子育て支援への考え方等について質問しました。

また、例えばメルカの2階に一時預かりも可能な子育てひろばがあれば、買い物や市民病院への通院、市役所や銀行への用事がある等の際に助かるため、設置（誘致）を検討してはどうか？

また、当市における不登校児童・生徒の状況、適応指導教室（わかば教室）における発達障害児・生徒の状況、不登校児童・生徒が増える中で、今後の適応指導教室の体制について質問しました。

もう一点、当市では10か月健診の際に、ブックスタート事業を行っていますが、3歳や4歳児検診時かないしは小学校入学時に2冊目の絵本をプレゼントするセカンドブック事業の取り組みへの検討を要望しました。

幼少期からのテレビ、パソコンやゲームは、子どもの発達において悪影響をきたすと言われておりますが、玉野の子どもたちが本に親しむきっかけづくりの一環として、提案させていただきました。

当市では、「他市の状況を見て検討する」といった答弁があまりにも多く、先進的な取り組みがなかなか行なわれていないのが現状です。市長が力を入れている少子化対策、子育て・教育施策については、玉野の子どもたちの未来のため、トップダウンで他市に先駆けた施策を行っていただきたいとよう要望しました。

2. 中心市街地活性化について～本当に玉野市の未来を考えた計画であるのか？

現在、宇野・築港地区において進められている中心市街地活性化基本計画に対して、まず、国から、主要事業が不明確等との指摘を受けたようですが、1月申請に向けてどのような計画見直しが行われるのか、質問しました。

当市の顔づくりであるこの中心市街地活性化は、本当に当市の未来を考えた計画であるのか、今の内容で果たして成功するのか、正直疑問を抱いています。市内外の方がどれだけこのエリアを訪れ、そして回遊するか、そして玉野市内でどれだけの消費が行なわれるか 市外から高速のインターがない玉野までお出かけいただくためには、相当魅力ある事業がないと非常に厳しいと考えます。また、市内の方も市外での買い物等での消費が多いわけですが、いかに市内で消費していただけるようにするかとこのところを勘案して、中心市街地の未来図が描かれているのかということ、大変な疑問があるわけですが、この計画によって玉野市をどうしていこうと目指しているのかについて質問しました。

また、目玉事業の温浴施設について、港湾法の分区指定が解除されないと温泉を掘削しても建物が建てられないが、もし計画が認定されなかった場合でも分区指定の解除はされるのか？

温浴施設、ホテル事業等において申請する予定となっている戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金は、国の事業仕分けの対象となっているが、国の動向と、また例え採択されなくても各事業は行なわれるのか？

街なか居住について、中活エリアに借上型市営住宅を整備したら居住人口が増えた事例もありますが、当市において借上型市営住宅や街なか居住への補助事業についての考えについてそれぞれ質問しました。

最後に、拠点施設であるメルカ（玉野街づくり棟）について、H25年9月末に返済期限が迫る中小企業基盤整備機構からの借入金（4月現在11億3,400万円）について、キャッシュフローの状況、天満屋ハピータウンの契約更新等について質問しました。

同社へは市民の血税1億円が出資されており、かつては市長、今は副市長が取締役会、株主総会に臨まれています。副市長は、取締役会では発言しているが、株主総会では取締役なので発言していないという答弁でしたが、本来は、経営陣としての立場よりも市民の血税を預かる株主としての立場が優先されるべきではないでしょうか？

また、現状としては無為無策といっても過言でないわけですが、市は経営陣に入っていないながら、出資比率が25%未満（24.5%）であるので、市の責任は全くないと言い切れるのか、疑問です。



台風12号で被災された皆様、手続きはお済みですか？

対象の皆様には市役所より書類をお届けさせていただいているかと存じますが、まだお手続きがお済みでない方もおられるようです。

災害見舞金は平成24年1月31日まで、また減免等の受付は平成24年3月30日までとなっております。どうかお早めにお手続きをお願いいたします。

なお、ご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ね下さい。（谷口：090-6433 5166）

>>>最後までお読みいただき、ありがとうございました。ご意見・ご質問等ございましたら、ぜひお寄せ下さい。